

明専の絆―その輪を大きく！

一般社団法人 明専会会長 高原 正雄（機43）



一般社団法人 明専会を代表してお祝いの言葉を申し上げます。

皆さん、ご卒業おめでとうございます。永い学業生活を終えて、いよいよ新しい道に踏み出すことになり。これまで培った高度な知識や見識を身に携え、希望を抱いて世の中に羽ばたいてください。皆さんは、卒業後は明専会の会員として、先輩・同輩・後輩との強い絆の中で大いなる活躍をされることになりました。

なお、新型コロナウイルス感染防止のために、本会場にはご同席されておりませんが、今日まで見守って育ててこられたご両親やご家族の皆様のお喜びはひとしおのことと拝察いたします。

す。心よりお祝いを申し上げます。

皆さんの入学式の時に、私は来賓挨拶の中で、皆さんは将来プロフェッショナル・エンジニアを目指すことになるが、そのためには課題が何なのかを自分の頭で考え、それを解決できる能力を有しなければならぬ、そこで、九州工大という素晴らしい人間形成の道場の中で、多くの人たちと群れ合い、大いに切磋琢磨して、世のため人のためになれる技術者を目指してくださいというような話をいたしました。しかし、一番大切な最終学年の年は、新型コロナウイルスのせいで群れ合うことはご法度な状況になりました。明専会が大学と共催で行っている明専塾、明専スクールも対面での開催は中止になりました。そういった状況の中でも、明専会はWEB活用による明専スクールセミナーの開催などを展開して参りました。

このように、エンジニアの卵である若き皆さんたちは、本当に大変な

状況下で世の中に旅立つことになりましたが、この節目の今こそ大きな志を持つべきだと思います。

本学は、今から112年前に創立された明治専門学校に始まりました。創立者である安川敬一郎翁と開学者である山川健次郎先生の崇高なる理念の下で切磋琢磨、勉学に励んで、大志を持って卒業された技術に堪能なる士君子は6万余名を数えます。その卒業生から成る明専会は『同窓の友情を保ち、親睦を厚くして、相互の連絡を図り、そして、後進の誘掖に努める』を目的とした典型的な同窓会組織であり、併せて母校および学生の支援、すなわち、公益事業に関わる事業を大きな柱として活躍している社団法人であります。全国に45支部16分会を有し、加えて、北京・タイ・ベトナムに海外明専学友会を有する大きな団体であります。その絆と結束力は他大学に例を見ないほど強いものであります。この意味することは、皆さんが全国のどこに行っても、あるいは海外に行かれても、そこには同窓生が居り、支部があるということです。これは、皆さんにとつてはとても大きな財産であります。皆さんの先輩の多くは国内

のみならず世界を舞台にして大きな足跡を残し、『明専』の名をさらに高めて来しました。そして、事ある度に、熱い母校愛と強い同窓の絆で明専会に集い、惜しみなく母校を支援してきました。その結果、母校はますます素晴らしい人材を育成して世の中に輩出することができています。こういった素晴らしい好循環が九州工大と明専会の絆をさらに強くしております。皆さんは、卒業のこの機に、新しい時代における明専の絆の輪を大きくして、自身がグローバルに活躍できるプロフェッショナル・エンジニアになれるようにしていただきたいと思います。明専会は、皆さんがそういった素晴らしいエンジニアになれるように直接的・間接的に応援いたします。

最後に、卒業生には毎年同じことをお話ししておりますが、今まで育てていただいたご両親やご家族のご恩に対しては、気持ちだけではなく、立派な形あるもので表現することが大切です。例えば、分かりやすく言いますと、初任給の全額は、まずはお母様に差し上げることが一番の恩返しだと思います。

（いすゞ自動車(株)理事）